



"As an ENERGYSTAR® Partner, SAMSUNG has
determined that this product meets the
ENERGYSTAR® guidelines for energy
efficiency."

Printed on recyclable paper



BN68-00229K-00



SyncMaster 171N

SyncMaster 171Np

SyncMaster 171Nm

TFT-LCDモニター

取扱説明書

よりよい画面を見るためには

1. 最高の画質をお楽しみいただくために コンピューターのコントロールパネルで解像度と走査率を下記のように合わせて下さい。
TFT液晶ディスプレイは最適の解像度でない場合 画質が均等にならないことがあります。
 - 解像度： 1280 × 1024 ● 垂直周波数： 60 Hz
2. 本製品は99.999%以上の精密度を持つ 最先端半導体の技術で製造されたTFT液晶ディスプレイパネルを使用致しております。
しかし 時々 赤、緑、青、白等のピクセルが明るく光って見えたり、黒のピクセルが何個か見えることがあります。これは不良製品ではありませんので 安心してご使用下さい。
 - 参考に 本製品に適用したTFT液晶ディスプレイのピクセルは3,932,160個です。
3. モニターをクリーニングする時は、乾いた柔らかい布にお水または中性洗剤を少量つけて拭いて下さい。
液晶の表示部の場合には 力を入れないで軽くこすって下さい。強すぎる力が加わった場合、染みができることがあります。
4. 画質が満足できない場合には、Windows終了ボタンを押して出てくる画面の状態で“AUTO ADJUSTMENT”(自動調整)機能を実行させると より良い画質を現すことができます。
自動調整した後にもノイズが発生する場合には、微細調整(FINE/COARSE)をして下さい。

■ ご注意

- ・ 本取扱説明書の無断複製を禁止します。
- ・ 本取扱説明書の内容は、お客様に予告なく変更される場合があります。

Copyright ©2002サムスン株式会社

■ 商標・登録商標について

- ・ 当社のロゴと本製品名「SyncMaster」は、Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- ・ VESA[®]、DPMS、DDCはVideo Electronics Standard Associationの登録商標です。
- ・ ENERGY STARの名前とロゴはU.S. Environmental Protection Agency(EPA)の登録商標です。本製品はENERGY STARの参加事業者として、ENERGY STARの省エネルギー促進のガイドラインを満たしています。
- ・ 各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

安全にご使用していただくために.....	2
準備.....	6
同梱物の確認.....	6
各部の名称とはたらき.....	7
セットアップ.....	9
液晶モニターのセットアップ.....	9
液晶モニターのセットアップーマルチメディアモデル.....	10
マルチメディアスピーカスタンド.....	11
モニタードライバのインストール.....	12
調整/設定.....	15
OSDについて.....	15
OSDの操作のしかた.....	15
各調整/設定について.....	17
液晶モニターの調整/設定.....	17
画像の調整.....	19
OSDの設置.....	21
インフォメーション.....	21
付録.....	22
節電機能(Power Saver).....	23
画面モード.....	23
VCCIについて.....	23
アームを取り付けるには.....	24
VESA® 規格のアームを取り付ける.....	25
ピボットスタンド.....	25
困ったときは.....	26
仕様.....	29
ピン配列.....	31
アフターサービス.....	32
索引.....	33
Natural Color	

安全にご使用していただくために

ご使用前に「安全にご使用していただくために」を必ず読み、よく理解して安全にご使用ください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示の欄は、守らなかった場合に死亡または重傷を負う可能性のある内容です。
 注意	この表示の欄は、守らなかった場合にけがや物的な損害を受ける可能性のある内容です。
	禁止の行為を表しています。 例えば  は「分解禁止」を表します。
	必要な行為を表しています。 例えば  は「必ず行う」を表します。

警告

電源コードについて

取り扱いを誤ると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工する、無理にねじ曲げる、束ねて結ぶ、引っ張る、重いものを上に載せるなどの行為をしない。
- 濡れた手で電源プラグを触らない。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため、電源コードに熱機器を近づけない。

取り扱いについてのご注意

水や異物などを入れない

火災や感電の原因となります。

- 風呂場や水辺、雨天時の野外など、本製品に水がかかるような場所では使用しない。
- 本製品の通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだりしない。
- 本製品に水や異物などが入るのを防ぐため、本製品の上に水の入った容器や植木鉢、化粧品、薬、小さな金属類（安全ピン、ヘアピンなど）を置かない。



分解しない

電気ショートや感電の原因になります。

- 内部には電圧の高い部分があるので、キャビネットを開けて分解しない。
- お客様ご自身で修理、点検や改造をしない。



異常がある場合は

次の場合は、直ちに電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後「お客様ご相談ダイヤル」に修理をご依頼ください。そのまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

- 異常な音がする、変なおいがする、煙が出ている。
- 電源コードが傷ついた（芯線の露出、断線など）。
- 本製品に水をこぼした、または内部に異物が入った。
- 本製品を落とした、またはキャビネットを破損した。

⚠ 注意



設置場所について

次のような場所には置かないでください。機器の落下によるけがや故障、または内部温度の上昇による発火やけが、感電などの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところ。
- 湿気やほこりの多いところ。水場に近いうところ。
- 暖房機器のそばなど、高温になるところ。
- 直射日光のあたるところ。
- 風通しの悪い狭いところ。
- 磁石やスピーカーなどの磁力を発生する機器が近くにあるところ。



設置のしかたについて

次のような置きかたをしないでください。機器の故障、または内部温度の上昇による発火やけが、感電などの原因になることがあります。

- 通風孔をふさいでしまい、内部の温度が上昇してしまうような狭いところに置く。
- 仰向けや横倒しに置く。
- じゅうたんの上や布団のような柔らかいものの上に置く。



液晶画面について

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 液晶画面を強く押したり、硬いもので触ったりしない。
- 液晶画面に衝撃を与えない。



電源プラグをコンセントから抜く

次の場合は、火災や感電など思わぬ事故を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜きます。

- お手入れをする場合。
- 本製品を移動させる場合。
- 旅行などでしばらく使わない場合。



接続するときは

次の点にご注意ください。けがや感電の原因となることがあります。

- 接続するときは電源を切り、取扱説明書に従って正しく接続する。
- 外部オーディオ機器や市販のケーブルを使用する場合は、接続する前にこれらの取扱説明書も読む。



移動するときは

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 電源ケーブルをコンセントから抜き、接続コードを取り外す。



お手入れするときは

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 液晶の表面を清掃するときは、まず電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で乾拭きする。
- キャビネットを清掃するときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布などで乾拭きする。汚れがひどい場合は、布をいったん中性洗剤を薄めた水に浸し、かたく絞ってから拭き取る。その後、再度乾いた布などで乾拭きする。
- 誤って本製品に水がかかってしまった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で水分を拭き取る。その後、十分に乾かしてから、電源プラグをコンセントに差し込む。

長期間安心ご使用していただくために、年に1回程度の清掃を「お客様ご相談ダイヤル」にご依頼ください。

準備

■ 同梱物の確認

このたびは、当社液晶モニター(171N/171Np/171Nm)をお買い求めいただきありがとうございます。お使いいただく前に、以下の付属品が揃っているかご確認ください。万一不足しているものがあつた場合は、おそれいりますが、32ページの「お客様ご相談ダイヤル」にご連絡ください。



取扱説明書（本書）



液晶モニター



保証書
（日本国内においてのみ有効となります。）



電源コード



D-Sub 15ピン信号ケーブル

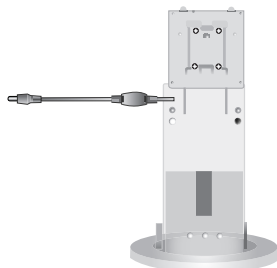


カラーユーティリティ
& インストールドライバ



ピボットスタンド&ピボットソフトウェア(171Np)

マルチメディアモデル（171Nm）



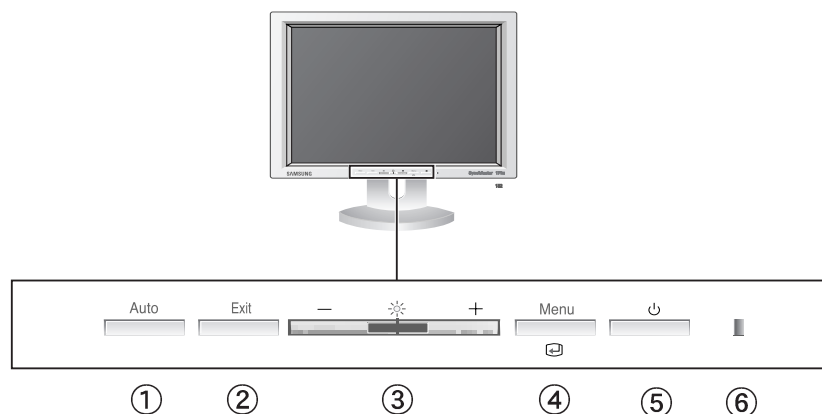
マルチメディア スピーカスタンド



サウンドケーブル

■ 各部の名称とはたらき

フロントパネル



① Auto(オート)

- 受信したビデオ信号に応じてモニターが自動調整されます。
- 粗調整、微調整、位置が自動的に調整されます。

② Exit(終了)

- OSD(P. 15 「OSDについて」 参照)を終了します。

③ -,+ / ☀

- OSD内の強調表示を左右に移動します。
- 選択した機能の数値を変更します。
- OSDが画面にないときは、 "+"または "-" ボタンを押して明るさを調整します。

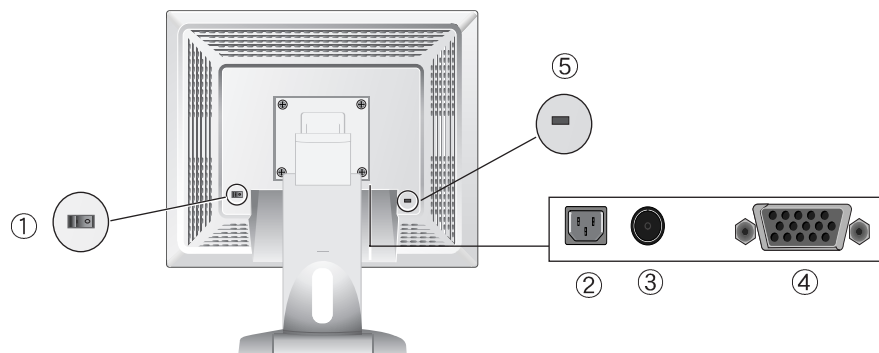
④ MENU(メニュー)

- OSD(P. 15 「OSDについて」 参照)を開きます。
- OSD内の強調表示されたメニューの項目を選択します。

⑤,⑥ Power(電源)/電源ランプ

- 液晶モニターの電源をオン/オフします。
- 液晶モニターの状態を示します。
 - 緑色点灯：通常の状態です。
 - 緑色点滅：節電モードになっている、または信号ケーブルがはずれています。

背面



① メイン 電源スイッチ

- メイン電源を遮断します。
- メイン電源スイッチを切にすれば、消費電力が0 (Zero)になります。

② 電源(Power-In)端子

- 電源コードを接続します。

③ マルチメディア電源出力端子(Multimedia Power-Out)

- マルチメディアスタンドの電源コードを接続します。

④ Video(ビデオ)信号端子

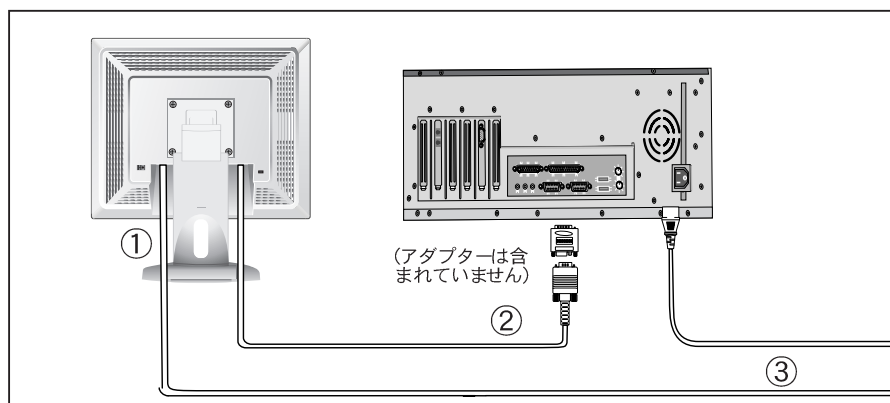
- 15Pin D-Sub信号ケーブルを接続します。

⑤ ケンジントン(Kensington)保護スロット

- 盗難防止などの保護ができます。(ロック器具は含まれていません)。

■ セットアップ

液晶モニターのセットアップ



① 電源コードをモニターの背面にある電源端子に接続する。

② 信号ケーブル

- 信号ケーブルをコンピュータのビデオ端子(ビデオボード、ビデオカード、またはグラフィックカード)に接続します。
- コンピュータにつないだ信号ケーブルをD-SUBコネクタに接続します。G3以前マックのコンピュータをお使いの場合は、マックのアダプターに接続します。そしてアダプターのピンを設定します(アダプターは含まれていません)。
- IBM互換コンピュータにはアダプターが必要ありません。

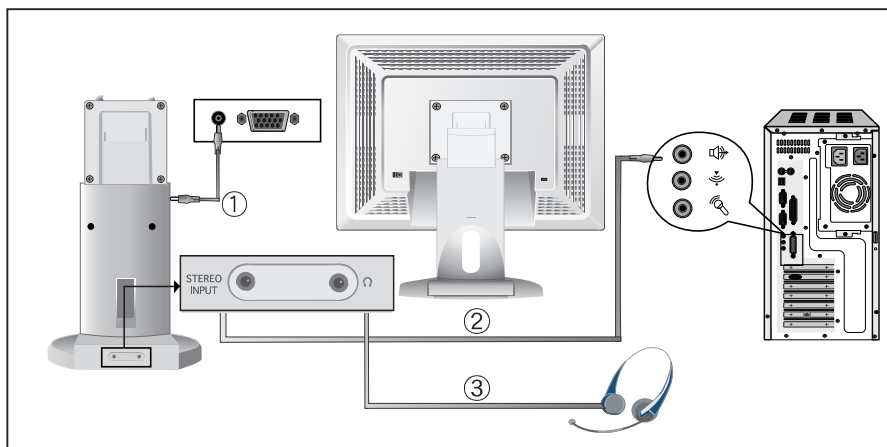
③ コンピューターと液晶モニターの電源を入れる。

画面が表示されたら適切に設定されたことになります。

④ フロントパネルのAutoボタンを押し、画面の自動調整を行う。

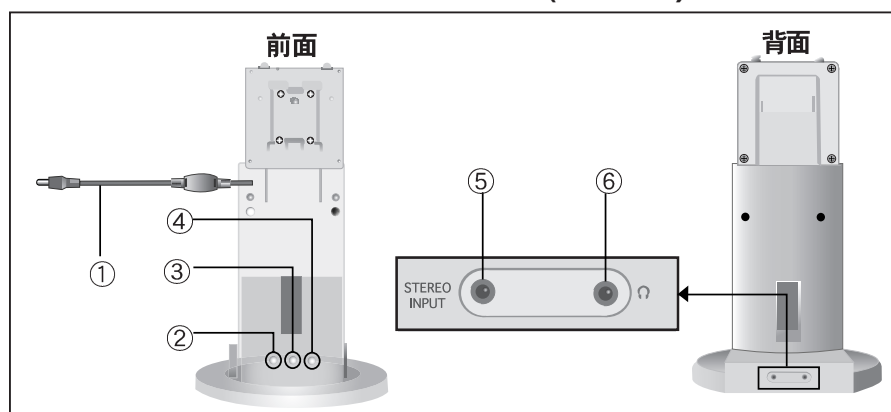
- ❗ **注意** 画面が映り、モニタードライバーの選択メッセージが表示されたら、システム内にあるドライバーを検索してください。本製品に最適なドライバーがない場合は、付属のCD-ROMを使ってコンピュータにインストールしてください。ドライバーのインストール方法については、CD-ROMのパッケージをご覧ください。

液晶モニターのセットアップ—マルチメディアモデル（17 1Nm）



- ① マルチメディアスピーカスタンドにある電源コードを液晶モニターの背面にあるマルチメディア電源端子に接続する。
- ② サウンドケーブルをマルチメディアスピーカスタンドの STEREO INPUT(ステレオ入力ジャック)とオーディオ入力ソース(サウンドカード、コンピューター、CD-ROMドライブ)に接続する。
- ③ ヘッドフォンを接続する。

マルチメディア スピーカスタンド(171Nm)



オン・オフ、音量、Bass、Trebleにアクセスするには、適切なコントロールボタンを右または左に回して機能を調整します。

表1. オーディオコントロール

番号	機能	説明と調整	
1	スピーカ電源コード	スピーカ電源コードをモニターの背面にあるマルチメディア電源端子に接続する。	
2	オン・オフ音量調節器	サウンドをオン・オフします。 ■ 左：オフ/音量を下げます。 ■ 右：オン/音量を上げます。	
3	Bass	低音サウンドの音量を調整します。 ■ 左：音量を下げます。 ■ 右：音量を上げます。	
4	Treble	高音サウンドの音量を調整します。 ■ 左：音量を下げます。 ■ 右：音量を上げます。	
5	ステレオ入力ジャック	サウンドケーブルを接続する。	
6	ヘッドフォンジャック	ヘッドフォンを接続します。	

■ モニタードライバのインストール

OSの誘導に従い、このモニターに含まれているCD-ROMを差し込みます。

ドライバのインストールが下記とは違う場合、ご利用のOSに伴い設定してください。

Windows XP

自動設置

- 1 CDを該当するドライブ(D:)に挿入してください。
- 2 CD-ROM ディスクは自動的に実行されます。万が一自動的に実行されないときは D: ドライブにある Setup.exe ファイルをダブルクリックしてください。
- 3 Monitor Driver Installationをクリックしてください。
- 4 モデル一覧からモニターモデルを選択した後、"**OK**" ボタンをクリックしてください。
- 5 "**警告**" の窓にある "**設定**" ボタンをクリックしてください。
- 6 "**メッセージ**" の窓が下のように表れたら、"**継続**" ボタンをクリックしてください。(モニタードライバはMS ロゴ 認証を受けており、この設置作業はあなたの運営システムに損傷をあたえません。)その次に "**OK**" ボタンをクリックしてください。認証されたドライバはサムスンモニターホームページで見ることができます。
<http://www.samsungelectronics.com>
- 7 モニタードライバーの設定が完了されました。

手動設置

- 1 CDを該当するドライブ(D:)に挿入してください。
- 2 "**スタート**" → "**コントロールパネル**" そして "**デスクトップテーマ**" アイコンなどを順番にクリックしてください。
- 3 "**画面**" をクリックした次に "**設定**" タップ, そして "**詳細**" をクリックしてください。

- 4 "モニター" タップの **"登録情報"** ボタンをクリックした次に **"ドライバ"** タップを選択してください。
- 5 **"ドライバアップデート"** をクリックした次に **"一覧から設置"** そして **"次へ"** ボタンをクリックしてください。
- 6 **"検索しない、自分で ..."** を選択して **"次へ"** そして **"ディスク使用"** をクリックしてください。
- 7 **"ブラウザー"** ボタンをクリックして D: Driver を選択した次にモデル目録で、あなたのモデルを選択し **"次へ"** ボタンをクリックしてください。
- 8 **"メッセージ"** の窓が下のように表れたら **"継続"** ボタンをクリックしてください。(モニタードライバは MS ロゴ認証を受けてあり、この設置作業はあなたの運営システムに損傷をあたえません。) その次に **"完了"** ボタンをクリックしてください。
認証されたドライバは サムスンモニターホームページで見ることができます。
<http://www.samsungelectronics.com>
- 9 **"閉じる"** ボタンをクリックした次に **"OK"** ボタンをクリックしてください。
- 10 モニタードライバの設置が完了されました。

Windows® 2000 と Windows® 98

- 1 Windows® 2000 と Windows® 98 は新しいモニターを検出し、ドライバがインストールされていない場合、「新しいハードウェアをインストールする」というウィザードがスタートします。**"次へ (NEXT)"** をクリックするとドライバの検出を行います。
- 2 モニターのドライバをどのディスクドライブボックスからインストールするか選択して **"次へ (NEXT)"** をクリックします。

- 3** Windowsがドライバをディスク上から検出したことをチェックし、**"次へ(NEXT)"** をクリックしてインストールを行います。

手作業でインストールする場合や、新しいドライバをインストールする場合は、下記の通りに行ってください。

- 1** **スタート、設定、コントロールパネル、画面の設定のタブ、詳細、モニターのタブの変更**をクリックします。そうすると「新しいハードウェアをインストールする」というウィザードがスタートします。
- 2** 表示されるステップに従って操作します。

Windows® 95

コンピュータが使う Windows® 95のバージョンを確認するために、マウスをデスクトップ上の**マイコンピュータ**のアイコンに移動して右クリックし、**プロパティ**を選択します。

システムの下のGeneral Sectionに使用しているバージョンナンバーが表示されています。お使いのバージョンによって下記の通りに行ってください。

Version 4.00.950A

- 1** **スタート、設定、コントロールパネル、画面の設定のタブ、ディスプレイタイプの変更、変更、ディスクの順**をクリックします。
- 2** ボックスにドライブ名を入力し、**OK**をクリックします。

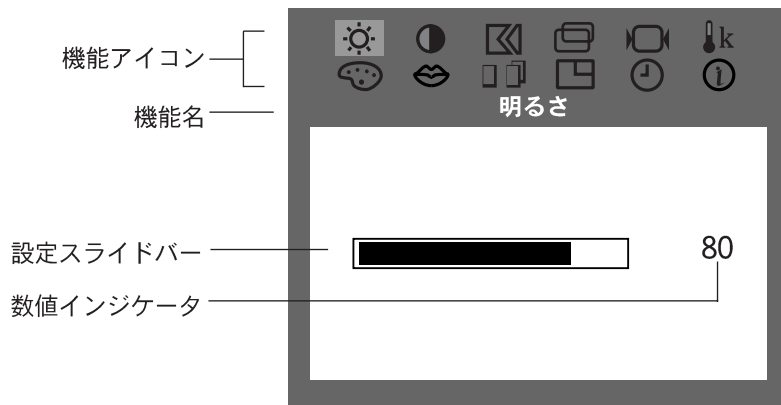
Version 4.00.950B

- 1** **スタート、設定、コントロールパネル、画面、ディスプレイの詳細、プロパティ、モニターのタブ、ディスクの順**をクリックします。
- 2** ボックスにディスク名を入力し、**OK**をクリックします。

調整/設定

■ OSDについて

OSD(オンスクリーンディスプレイ)とは、液晶モニターを調整/設定するための画面です。フロントパネルで操作ができます。



■ OSDの操作のしかた

- 1 **Menu** を押す。OSDが表示されます。
- 2 **[+I-]**でアイコンを選択する。選択されているアイコンが強調表示されます。
- 3 再度**Menu**を押す。選択されたアイコンが決定され、サブメニュー画面が表示されます。
- 4 **[+I-]**で各機能のサブメニューの項目を選択する。
- 5 **Menu**を押して、サブメニューで選択した項目の調整/設定をする。

❗ 注意 ・調整/設定は**Menu**を押すことで決定しますが、機能によっては**Menu**を押さずに手順6へ進みます。

6 OSDを画面上から消す場合は、**Exit**を押す。

- ① 注意** ・機能によっては、機能メニュー内にサブメニューがあります。サブメニューからOSDを消すときなど表示状態によって、**Exit**を押す回数が変わります。

- ① 注意** ・ OSDから各機能の設定を変更して約 5 秒以上**Meru**を押さないと、自動的に変更した内容が保存されます。(OSDが自動的に画面から消えます)。
- ・ OSDが画面に表示されていないときに**Meru**を 5 秒押し続けると、設定内容を変更できないように固定することができます。ただし、明るさ(Brightness)、コントラスト(Contrast)変更は可能です。再度**Meru**を 5 秒以上押し続けると固定を解除できます。固定されたときはOSDの機能アイコンの中に 明るさ(Brightness)とコントラスト(Contrast)とインフォメーションを除いたすべてOSDメニュー画面の下に“ロック！”というメッセージが表示されます。

■ 各調整/設定について

各調整/設定の操作説明は、フロントパネルに対応しています。カッコで囲まれた操作説明は、フロントパネルを使った別の操作方法を示しています。

- ❗ **注意** 2時間以上電源を切っていた場合は、電源を入れた20分後から調整を行ってください。

操作の見かた

☐ **Menu** マーク : メニューボタンを押します。

☐ **アイコンマーク** : OSD内に表示されます。フロントパネルの[+I-]で選択し、メニューボタンを押すことで決定します。

☐ **マーク** : 選択したアイコンの設定バーに表示される選択項目(サブメニュー)です。再度メニューボタンを押した後[+I-]で選択し、メニューボタンを押すことで決定します(機能によってはメニューボタンを押さずに、Exitボタンを押してOSD画面を消すと決定します)。

■ 液晶モニターの調整/設定

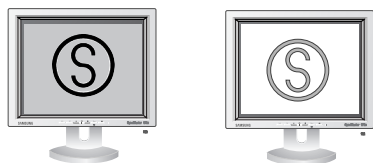
画像の調整を自動で行う

操作 ☐ **Auto**

- ❗ **注意** ・ 自動調整が自動的に画像調整を設定しても、ビデオボード性能によって最適化されない場合があります。自動調整を使用した後、OSDを使用し画像を再設定してください。

画像を明るくする(暗くする)

操作 **Menu** ➡ ☀



画像の輪郭をはっきりさせる

操作 **Menu** ➡ 🌓



画像の調整

画像のノイズを取り除く

操作 **Meru** →  → **微調整** / **粗調整**

❗ 注意 微調整が正しく調整できないときは、最初に 粗調整を行い、その後 微調整を行ってください。

 を行うと、画像の横幅が変更されることがあります。

その場合は、  を使用して画像を中央に移動させてください。(つぎの「画像を横軸方向に移動するときは」参照)。



粗調整が悪い画面



微調整が悪い画面

画像を横軸方向に移動する

操作 **Meru** →  → -   +



画像を縦軸方向に移動する

操作 **Meru** →  →  +
 -



画面設定を工場出荷時の状態に戻す

操作 **Menu** ➡  ➡ **ジオメトリリセット**

❗ 注意 画面領域のH位置とV位置を再設定します。

画面の色を工場出荷時の状態に戻す

操作 **Menu** ➡  ➡ **カラーリセット**

❗ 注意 明るさ、コントラスト、カラーコントロール機能を再設定します。

画面の色をお客様の好みに調整にする

操作 **Menu** ➡  ➡ **ユーザー調整**

❗ 注意  カラーコントロールで調整した色に設定します。

画面の色を赤みがかった白色にする

操作 **Menu** ➡  ➡ **赤色系**

画面の色を青みがかった白色にする

操作 **Menu** ➡  ➡ **青色系**

画面の色を3D Color に調整する

操作 **Menu** ➡  ➡ **3D Color**

➡ **R** / **Y** / **G** / **C** / **B** / **M**

ディスプレイ領域の赤、緑、青の彩度を調整する

操作 **Menu** ➡  ➡ **R** / **G** / **B**

R：赤色を増加、減少します。

G：緑色を増加、減少します。

B：青色を増加、減少します。

OSDの設整

OSDの表示言語を変える

操作 **Menu** ➡ 

❗ 注意 言語は4つの言語 (English(英語), 日本語, 汉语, 한국어) から選択します。

OSDの背景を半透明にする

操作 **Menu** ➡  ➡ **ハーフトーン**

OSDの表示位置を変える

操作 **Menu** ➡  ➡ **H-ポジション** / **V-ポジション**

❗ 注意 H-ポジション – OSDの表示位置を横軸方向に移動する
V-ポジション – OSDの表示位置を縦軸方向に移動する

OSDの表示時間を変える

操作 **Menu** ➡ 

[5/10/20/50/200]秒

■ インフォメーション

現在のビデオ信号の情報を表示する

操作 **Menu** ➡  ➡

例)

80.0kHz 75Hz NN	 周波数および同期極性
1280X 1024	 解像度

付録

■ 節電機能(Power Saver)

本製品は「Power Saver」(パワーセーバー)と呼ばれる消費電力を管理する機能を搭載しており、コンピューターの電源設定をロウパワーモードにすることで使用できます。長時間操作をしない状態が続くと自動的に節電機能が働きます。本機能はコンピューターが「電源オン」、「節電モード」、「パワースイッチオフ」のモードのときに有効となります。「Power Saver」(パワーセーバー)はコンピューターにインストールされているVESA®ビデオカードのDPMS(Display Power Managerial Signaling)機能が働くと節電モードになります。この機能を設定するには、コンピューターにインストールされているソフトウェアを使用してください。詳細については以下の表1をご覧ください。

表2. 節電モード

状態	通常動作	節電モード (EPA/ENERGY2000)	パワーボタン オフ	パワースイッチ オフ
電源ランプ	緑	緑点滅	黒	黒
消費電力	40W(最大)	3 W以下	1W以下	0W

- ❗ **注意** 節電モード中にコンピューターのマウスを動かしたり、キーボードのキーを押したりすると、節電モードからノーマルモードに切り換わります。
- 本機はEPA ENERGY STAR®、NUTEKとENERGY2000に対応しています。
- 節電のため、長時間使用しないときは液晶モニターの電源をオフにしてください。

■ 画面モード

リストは、製造時に最適化されたスクリーンイメージです。

表3. プリセットタイミングモード

モード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VGA	640X350	31.469	70.086	25.175	+/-
	640X480	31.469	59.940	25.175	-/-
	720X400	31.469	70.087	28.322	-/+
	640X480	37.500	75.000	31.500	-/-
	640X480	37.861	72.809	31.500	-/-
SVGA	800X600	35.156	56.250	36.000	+, -/+ , -
	800X600	37.879	60.317	40.000	+/+
	800X600	46.875	75.000	49.500	+/+
	800X600	48.077	72.188	50.000	+/+
XGA	1024X768	48.363	60.004	65.000	-/-
	1024X768	56.476	70.069	75.000	-/-
	1024X768	60.023	75.029	78.750	+/+
SXGA	1280X1024	63.981	60.020	108.00	+/+
	1280X1024	79.976	75.025	135.00	+/+
MAC	640X480	35.000	66.667	30.240	-/-
	832X624	49.726	74.551	57.284	-/-
SUN	1280X1024	81.129	76.106	135.00	-/-

VCCIについて

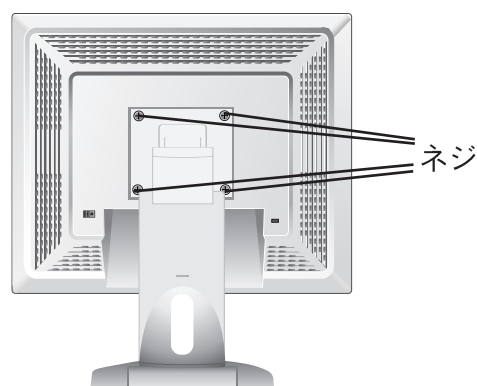
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■ アームを取り付けるには

アームタイプのスタンドを取り付けることによって、空間を有効に利用しながら好きな位置で液晶モニターを使うことができます。VESA® 規格アームの使用をご希望の場合は、32ページの「お客様ご相談ダイヤル」にお問い合わせください。

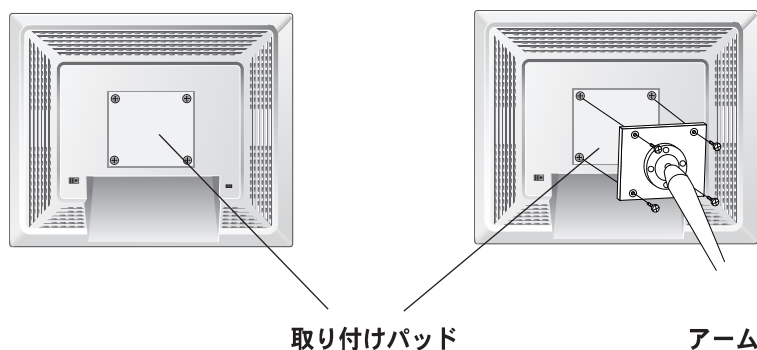
スタンドを取り除く

- 1 モニターを消し、電源コードを抜いてください。
- 2 安定した場所に画面を守るためのクッションまたはやわらかい布などを敷き、図①のように画面を下にして液晶モニターを置く。
- 3 四本のネジを外した後、LCDモニターからスタンドを取り除きます。



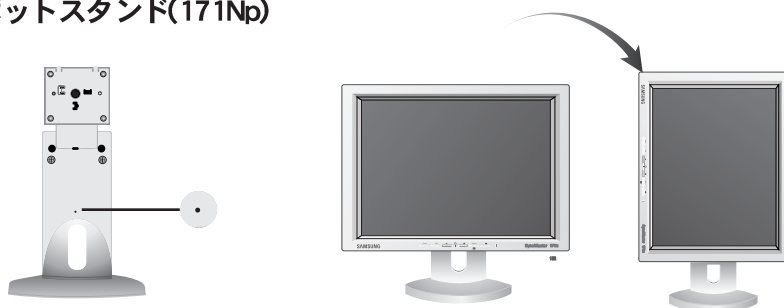
図①

VESA® 規格のアームを取り付ける



- 1 アームの接続部分を、液晶モニター背面の取り付けパッドに合わせる。
- 2 アームに同梱されている4本のネジで、液晶モニターとアームの接続部分をしっかり固定する。

ピボットスタンド(171Np)



- 1 ピンを抜いた後、上の方または下の方に動かすことができ、固定させるときには、もう一度ピンを挿し入れて固定させてください。(スタンドが完全に上がったたり下がった状態であれば、ピンを抜いたり挿すことができません。)

❗ 注意 下に下がった状態で回転させますと破損する恐れがあります。

困ったときは

表4. 画像関連

症状	対処	参照先
画面に何も表示されず、電源ランプが消えている	■電源コードが接続され、液晶モニターの電源がオンになっているのを確認してください。	セットアップ P.9
「接続を確認してください」のメッセージが表示される。	■信号ケーブルがコンピューターまたはモニターに接続されているかを確認してください。 ■コンピューターまたはモニターの電源がオンになっているかを確認してください	セットアップ P.9
「無効な入力信号です」のメッセージが表示される。	■最大解像度とビデオアダプターの周波数を確認してください。 ■現在の数値を、画面モードのタイミングチャートにある数値と比較してください。	画面モードについて P.23
画像が明るすぎる、または暗すぎる	■明るさ(Brightness)とコントラスト(Contrast)を調整してください。	画像を明るくする (暗くする) P.18 画像の輪郭をはっきりさせる P.18
水平方向にノイズが発生する	■微調整をしてください。	微調整 P.19
垂直方向にノイズが発生する	■粗調整を最初に調整し、その後微調整をしてください。	粗調整 P.19 微調整 P.19
画面に何も表示されず、電源ランプが緑色に点灯、または1秒毎に電源ランプが点滅する。	■液晶モニターの節電機能(Power Saver)が作動しています。 ■コンピューターのマウスを動かすか、キーボードのどれか1つキーを押してください。	節電機能(Power Saver) P.22

表4. 画像関連(続き)

症状	対処	参照先
画像が安定せずにゆれて見える	■ コンピューターかビデオボードの解像度と周波数が、液晶モニターの有効モードに設定されているかを確認してください。 ■ 設定が正しくない場合は、コンピューターの画面設定をし直してください。	画面モード P.23 ビデオドライバーのインストールについて P.12
	① 注意 次の周波数の範囲内でマルチスキャン・ディスプレイ機能をサポートしています。	
	■ 水平周波数 30 kHz ~ 81 kHz ■ 垂直周波数 56 Hz ~ 75 Hz ■ 最大リフレッシュ率： 1280 X 1024 / 75Hz	
画面の中央に画像が来ない	■ 水平位置と垂直位置を確認してください。	画像を横軸方向に移動する P.19 画像を縦軸方向に移動する P.19
OSDから機能を調整／設定できません	■ OSDが固定されているかを確認してMenu ボタンを5秒以上押し続けて固定を解除してください。	OSDの操作しかた P.15
モニタードライバーソフトウェアが必要なとき	■ ドライバーを次のホームページからダウンロードしてください。	http://www.samsung-monitor.com

表5. マルチメディアモデル関連(171Nm)

症状	対処	参照先
音声聞こえない	■ サウンドケーブルを使って、液晶モニターのステレオ入力ジャックとコンピューのステレオ出力ジャックの両方に確実に接続されているか確認して下さい。 ■ 音量レベルを確認して下さい。	液晶モニターのセットアップ—マルチメディアモデル P. 10 サウンド(音)の調整 p.11
音量が低すぎる	■ 音量レベルを確認して下さい。 ■ 音量を最大に変更しても音量が低い場合は、コンピューターのサウンドカードの音量制御、またはソフトウェアを確認して下さい。	サウンド(音)の調整 p.11 コンピューターのサウンドカード、またはソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
音質が高すぎる、または低すぎる	■ 高音と低音を最適なレベルに調整して下さい。	サウンド(音)の調整 p.11
音が鋭すぎます。	■ 音量を少しずつ弱めてください。マイクが接続されている場合、一定の距離をおきながら音量を調整して下さい。	サウンド(音)の調整 p.11
雑音が出ます。	■ 音量を小さくしてください。モニターのスタンドの下に雑誌やパッドを置いて下さい。	サウンド(音)の調整 p.11

表6. 技術と環境仕様

		171N/171Np/171Nm
パネル	サイズ 画面サイズ タイプ ピクセルピッチ 視野角度	17.0" 対角線 337.92 (H) × 270.336 (V) mm a-si TFTアクティブマトリクス 0.264(H) × 0.264 (V) mm 140° / 120° (左右/上下)
*周波数	水平走査 垂直走査 最大表示色	30 ~ 81 kHz 56 ~ 76 Hz 約1,677万色
画面解像度	推奨モード 最大モード	1280 × 1024 / 60Hz 1280 × 1024 / 76Hz
入力信号	入力同期 ビデオ信号	セパレート、 TTL、正/負極性 コンポジット、 TTL、正/負極性 シンクオングリーン 0.3 V _{pp} 、負極性 アナログ 0.7 V _{pp} / 75Ω
最大映像帯域幅		135MHz
電源	入力	90~264VAC、50/60Hz ±3Hz
消費電力	最大 節電モード パワーオフ(パワーボタン) パワーオフ(パワースイッチ)	40 W 3 W以下 1 W以下 0 W以下
寸法/重さ (W/H/D)	スタンド使用時 VESA マウントイン ターフェイス	367.8 × 396.2 × 190.5/5.1kg(171N/Np) 367.8 × 401.2 × 208/5.7kg(171Nm) 100X100mm (アームタイプスタンド)
環境条件	動作温度範囲 動作湿度範囲 保管温度範囲 保管湿度範囲	10°C~40°C 10%~80% 非凝縮 -20°C~45°C 5%~95% 非凝縮

* 画面モードを参照する: 23ページ。

表7. マルチメディア スピーカスタンド(17 1Nm)

寸法	単位(LxHxD)	220 x 253 x 208mm
オーディオ 特性	オーディオ入力	L/Rステレオジャック、0.5 Vrms
	オーディオ出力	8 ohmで (L) 2.2W+(R) 2.2W/THD 10%
	周波数応答	40 Hz ~ 20 kHz (-3dBで)
	ヘッドフォン	最大20 mW出力(3.5mmジャック)
	スピーカ	8 ohmX2個、70X32(mm)

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

■ ピン配列

表8. D-sub 15ピンコネクター

ピン	セパレート	コンポジット	シンクオングリーン
1	赤	赤	赤
2	緑	緑	緑+コンポジットシンク
3	青	青	青
4	グラウンド	グラウンド	グラウンド
5	グラウンド(DDC リターン)	グラウンド(DDC リターン)	グラウンド(DDC リターン)
6	赤グラウンド	赤グラウンド	赤グラウンド
7	緑グラウンド	緑グラウンド	緑グラウンド
8	青グラウンド	青グラウンド	青グラウンド
9	接続なし	接続なし	未使用
10	グラウンドシンク セルフテスト	グラウンドシンク セルフテスト	グラウンドシンク セルフテスト
11	グラウンド	グラウンド	グラウンド
12	DDC_SDA	DDC_SDA	DDC_SDA
13	水平同期	コンポジットシンク	未使用
14	垂直同期	未使用	未使用
15	DDC_SCL	DDC_SCL	DDC_SCL

アフターサービス

サムスンの製品は、全国どこでもアフターサービスが受けられます。
修理などアフターサービスについてのお問い合わせは、「お客様ご相談ダイヤル」
にご相談ください。

■日本サムスン株式会社

●お客様ご相談ダイヤル



0 1 2 0 - 3 6 3 - 9 0 5

受付時間 平日 9:00~19:00
土日祭日 9:00~17:00

F A X 03-5641-9883

E-mail cyber@samsung.co.jp

ホームページ <http://www.samsung.co.jp>

●本社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1浜町センタービル

T E L (03) 5641-9036

F A X (03) 5641-9861

受付時間 平日（土日祭日を除く）9:00~17:00

●東京サービスセンター

〒136-0072 東京都江東区大島2-32-8

T E L (03) 3683-0364

F A X (03) 3683-0381

受付時間 平日（土日祭日を除く）9:00~17:30

索引

A

Auto.....	7、9
Bass.....	11
D-sub 15ピンコネクター.....	31
Exit(終了).....	7
ハーフトーン.....	21
OSD.....	16
自動保存機能.....	16
設定固定/解除.....	16
OSDの設定.....	21
OSDの表示位置の変更.....	21
OSDの表示言語の変更.....	21
OSDの表示時間の変更.....	21
Treble.....	11
－,＋ ボタン.....	7

あ

液晶モニターの調整/設定.....	17
明るさの変更.....	18
コントラストの変更.....	18
音量調節器.....	11

か

画像の調整.....	19
色の自動調整.....	20
色の手動調整.....	20
色設定のリセット.....	20
粗調整(コース).....	19
設定のリセット.....	20
縦軸移動.....	19
微調整(ファイン).....	19
横軸移動.....	19

3D Color.....	20
---------------	----

画面モード.....	23
困ったときは.....	26

さ

サウンド.....	11
サウンドケーブル.....	6, 10
セットアップ.....	9
節電機能(Power Saver).....	22

た

電源(Power) ボタン/電源ランプ.....	7
--------------------------	---

は

背面.....	8
ピボットスタンド.....	6, 25
フロントパネル.....	7
ヘッドフォン.....	11

ま～ら

マルチメディアスピーカスタンド.....	11, 30
メニュー (Menu)ボタン.....	7